

チベット 西藏問題 — 青木文教外交調書 —

あおきぶんきょう
青木文教・著
外務省調査局／
慧文社史料室・編

A5判・上製クロス装・函入
定価7350円(税込)
ISBN978-4-86330-024-8
2009年2月下旬刊

鎖国下のチベットに仏教学者として5年間の調査滞在を果たした、日本のチベット研究先駆者・青木文教。第二次大戦中、外務省囑託として対チベット外交に携わった青木が記述した『極秘』の外務省調書を初公開！ 古代吐蕃王国以来のチベット外交史を分かりやすく詳述するとともに、チベット政府代表団の秘密裡訪日、戦時下の対チベット戦略案など、知られざる歴史秘話も明らかになる！ 「^{チベット}西藏問題」の原点を詳述した、まさに第一級史料！

青木 文教 (あおき・ぶんきょう)

チベット研究者、僧侶。滋賀県安曇川町生まれ。仏教大学(現・龍谷大学)大学院在学中に大谷光瑞の秘書となり、仏教遺跡の研究に従事。大正元年(1912)より5年間チベットの首府ラサに滞在し、ダライ・ラマ13世と親交を持つ。1941年から終戦まで外務省調査部囑託職員としてチベット問題研究に従事。戦後は東京大学講師などを務め、チベット語を教える。(1886-1956)

未公開の外務省史料 本邦初の書籍化！

読みやすい新字・現代かな改訂版に加え、
学術文献として有用な原史料翻刻を付す！

本書内容

- *チベット問題——1943年・外務省調査局調書より
支蔵関係の史的考察(付記・参考条約文抄録)
付録一、チベット近時の内外情勢／付録二、ダライとパンチェンについて
- *チベット政府代表訪日の成果とチベット問題の調査に関する所見
(チベット代表招致報告)——1942年・外務省調査部第三課記録【極秘】より
- *チベット問題とその対策——1941年・外務省調査部第三課記録【極秘】より

以下今後のラインナップ

2 西藏の民族と文化

2009年3月中旬刊行予定！

青木文教・著 予価6300円

チベットの歴史と意外な日本との縁！ 土着信仰ボン教とラマ教との「神仏習合」、民族起源神話の史的解釈、「チベットの聖徳太子」に喩えられる古代吐蕃王、明治以来の日本との交流等々…民族文化研究から当時のチベット情勢まで、様々なテーマから古今のチベット史を詳述。第二次大戦下にあつて、チベット問題の重要性と日本人の理解を孤軍奮闘訴え続けた青木文教渾身の快著！

3 西藏探検記

2009年4月頃刊行予定！

スウェン・ヘディン・著 高山洋吉・訳 予価7350円

シルクロード探検記『さまよえる湖』で有名なスウェーデンの探検家スウェン・ヘディン(1865-1952)による、1906年から3度にわたるチベット遠征の紀行文。決死のヒマラヤ越え、トランス・ヒマラヤ山脈の発見、貴重な当時のチベット人の習俗描写などを、臨場感溢れる筆致で綴る！ 地理学、民族学の上でも注目すべき一大探検記。著者自筆の挿絵も多数収載！

4 西藏・過去と現在

2009年5月頃刊行予定！

チャールズ・ベル・著 田中一呂・訳 予価8400円

20世紀初頭、鎖国であったチベットに長期駐在し、時のダライラマ13世の篤い知遇を得た英国外交官がいた！ 英領インド政府のシッキム駐在政務官として、チベットやブータンとの交渉に類まれな活躍をしたチャールズ・ベル卿(1870-1945)。当時のチベット政府の内情や国際情勢、そして英国の思惑を克明に記述する！ 古代から20世紀前半までのチベット関係諸条約も付録。

5 西藏・英帝国の侵略過程

2009年6月頃刊行予定！

F・ヤングハズバンド・著 村山公三・訳 予価7350円

清朝の宗主権下、固く門戸を閉ざした秘境であったチベット。その眠りを覚ました、外国列強による初の直接的接触——チベットにおける「黒船来航」とも云うべき、1903年の英領インド軍チベット進駐を指揮した、英国軍人ヤングハズバンド大佐(1863-1942)。英国勢力のチベット進出の最前線に立った当事者であり、探検家・著述家としても知られる著者による歴史的ルポルタージュ！

★定期購読予約受付中！(毎月1冊刊行予定)

★以後続刊予定！

2月の新刊

様	部数	(株) 慧文社 直 〇三―五三三九―一六〇六六 電 〇三―五三三九―一六〇六六
		青木 文教 著 外務省調査局／慧文社史料室 編 チベット 問題 だいい 青木 文教 外交 調書 (近代チベット史叢書1) 定価:7350円(本体7000円+税5%) ISBN978-4-86330-024-8 C0322 ¥7000E
帳合		

〒174-0003 東京都板橋区新野町4-40-3
社 慧文社
(株) 慧文社
電話03-5392-6069 FAX03-5392-6078